

「保護者支援」及び「職員の資質向上」に関する主な論点（例）

「保護者支援」の内容の充実について

- 核家族化が進み、地域の結びつきが薄れていく中で、子育て世帯の孤立化が問題となっているほか、男性の長時間労働等の問題等も依然として大きく、地域における子育て支援の必要性が高まっている。このような状況を踏まえ、様々な子育て支援事業が政策化されているが、保育所として、どのように取り組みを進めていくべきか。
- 育児に関する悩みを抱える保護者も数多く、児童虐待の対応件数も増加を続けるなどの状況がある中で、保育所のソーシャルワーク機能の充実を求める声もあるが、保育所として、どのように専門性の充実を図ることが望ましいか。

「職員の資質向上」の内容の充実について

- 保育士の職務である子どもたちへの保育や保護者への保育指導に関しては、様々な課題（小学校接続、乳児保育の充実、保育事故対応、虐待対応等）への対応が求められている。関連する職種の業務内容や専門性との関係も踏まえつつ、保育士に求められる専門性をどのように捉え、その向上方策をどのように図っていくべきか。
- 現行の保育指針においては、保育課程の下で、保育所として様々な計画等を策定し、組織として一体的・効果的に取組を行うことが求められている。また、関係機関との連携や、保護者への対応などにおいても、組織としての対応の重要性が増大している。これらのことを踏まえ、組織のマネジメントを担う施設長や、組織の中核としての役割を担う主任保育士等の能力の向上を、どのように図っていくべきか。
- 保育所としての組織的な対応や、様々な課題に応じた専門性の向上が求められる中で、それぞれの保育士が、自らの職位や職務内容等に応じて、組織の中でどのような役割が求められているかを理解し、必要な力を身につけることができるよう、キャリアパスの明確化と合わせた研修体系の構築が必要ではないか。